

日本近代医学の源流がここに



日本で最初の西洋式の病院「小島養生所」

ポンペが創立した養生所・医学所、日本最初の近代的西洋式病院を付設した医学校、1861年8月6日（文久元年7月1日）に落成式、同年9月20日（8月16日）に開院式及び開校式が行われた。

1857年11月12日 ポンペ、日本に初めて近代医学教育を導入

日本とオランダの国旗がひるがえる2棟の長い本館と三角屋根の医学所—1861年9月20日、日本で初めての西洋式近代病院「小島養生所」が、長崎にある小島佐古の丘に誕生しました。

遡ること4年前の1857年11月12日。長崎奉行所西役所において、ポンペ・ファン・メルデルフォールトは日本初の系統的な近代西洋医学の講義を開始しました。そこで学んだのは松本良順の呼びかけにより諸藩から集まった医師たちでした。化学や物理学の基礎に加え、生理学、病理学、薬理学といった近代医学の概要を、ポンペはたった一人で教えました。幕末の日本には国立医学校も、伝染患者を隔離する病院もなく、人民の健康をまもる行政組織もありませんでした。ポンペはその状況を打破する近代医学・医療革命の第一歩を踏み出したのです。

✔ 日本人の心を動かした差別のない患者中心の医療

✔ 日本の近代医学・薬学と公衆衛生行政は養生所から

✔ 日本最古の歴史を誇る長崎大学医学部

2015年10月 小島養生所遺構が発見

2015年10月長崎市小島2丁目の長崎市立仁田佐古小学校の建設予定地から、小島養生所遺構が発見され、その後の発掘調査で、北東の礎石や冠木門

瓦敷などが発掘されました。

長崎市は指定史跡として、一部の遺構を仁田佐古小学校体育館に併設する展示室で露出展示することを決定。

2020年4月『長崎（小島）養生所跡資料館』を開館しました。

※資料館の詳細については、長崎市公式ホームページをご覧ください。

（以下をクリックすると公式ページへ移動します。）



長崎市公式ホームページ

長崎（小島）養生所跡資料館

NAGASAKI (KOSHIMA) YOJOSHO REMAINS MUSEUM

小島養生所に関わった近代医学の偉人たち



ポンペ・ファン・ メルデルフォルト

第二次海軍伝習の教官として来日し1857年11月12日に日本初の系統的な近代西洋医学教育を開始した。4年後には養生所を設立。四民平等、患者中心の医療を教え、近代西洋医学教育の父と称される。



松本 良順

將軍御目見医師として1857年第二次海軍伝習に参加し、諸藩の医師を自らの弟子としてポンペの講義を受けさせた。養生所・医学所の設立にも尽力し、頭取となる。維新後は初代陸軍軍医総監を務めた。



アントニウス・ボードイン

ポンペが学んだユトレヒト陸軍軍医学校の教官を経て、1862年ポンペの後任として養生所に赴任。基礎自然科学のための分析窮理所を設立する。最新の知識を教授した講義録は、その後全国に流布した。



ファン・マンズフェルト

ユトレヒト陸軍軍医学校を卒業し、1866年来日。3代目教頭として長与專斎とともに学制の改革を行う。その後、熊本医学校、京都府療病院、大坂府立病院へと転出し、日本の初期医学教育に従事する。



長与 専斎

緒方洪庵の適塾で学び、師の勧めでポンペの教えを受ける。長崎医学校校長を務めた後、岩倉具視遣欧使節団の一員として欧米の医療制度を調査。帰国後は文部省医務局長として衛生行政の多くを施行する。



吉田 健康

1874年の征台の役により廃校となった長崎医学校の再興を実現。その後、甲種長崎医学校、第五高等学校医学部、第五高等学校医学部の長として発展に尽力し、長崎の坂本へ医学部を移転する。

写真資料／長崎大学附属図書館所蔵

参考資料／『出島の医学』相川忠臣著（長崎文献社）

『写真で見る医学部150年の変遷～長崎大学医学部創立150周年記念誌 第6章抜粋』

長崎大学医学部創立150周年記念会発行